

景況調査

令和元年10月～令和元年12月期



	業況		売上高		採算(経常利益)	
	10～12月期動向		10～12月期動向		10～12月期動向	
全体	▲19.6		▲28.8		▲23.1	
小売業	▲30.8		▲35.7		▲35.7	
製造業	▲36.4		▲36.4		▲27.3	
建設業	0.0		▲22.2		▲11.1	
サービス業	▲14.3		▲35.7		▲21.4	
卸売業	0.0		25.0		0.0	

DI指数	30以上	10以上30未満	▲10以上10未満	▲30以上▲10未満	▲30未満
------	------	----------	-----------	------------	-------

※ 調査の結果を示す指標としてDI指数(Diffusion Index(景気動向指数)の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値)を用いた

※ 「業況」「売上」「採算(経常利益)」のDI指数は前年同期との比較

10月～12月期の調査結果を見ると、調査全体計で業況、売上高、採算(経常利益)で雨(▲30以上▲10未満)となった。前回調査から業況は▲11.0、売上高は▲28.8、採算は▲5.6と数値が低下した。特に、小売業は3指標ともに大雨(▲30未満)であり、製造業も業況と売上高で大雨で今回調査時点ではかなり苦戦を強いられた。一方で卸売業は業況と採算が曇(▲10以上10未満)、売上高は薄曇(10以上30未満)と他の4業種よりも高い数値であった。

